

2015 年 8 月 27 日

日本オセアニア学会御中

特定非営利活動法人 難民を助ける会  
理事長 長 有紀枝

### 「日本オセアニア学会ヴァヌアツ災害義捐金事業」報告書

この度は、当会の活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
2015 年 5 月 14 日付でご寄付を賜りました標記のプロジェクトが完了致しましたので、関連資料を添えてご報告申し上げます。

#### 記

#### 1. 事業名

日本オセアニア学会ヴァヌアツ災害義捐金事業

#### 2. 事業実施場所

ヴァヌアツ共和国タンナ島、パアマ島

#### 3. 事業実施国（ヴァヌアツ共和国）の 基本情報

● 首都：ポートビラ	● 宗教：キリスト教（長老派、カトリック、英国国教会など）
● 面積：1 万 2,190km <sup>2</sup> （新潟県とほぼ同じ）	● 主要産業：農業、観光業
● 人口：25 万人（2013 年）	● 援助国：豪州、ニュージーランド、日本
● 言語：ビスラマ語、英語、仏語（いずれも公用語）、他に約 110 の在来語	

（参照：日本国外務省のヴァヌアツ基礎データ）

#### 4. 事業実施背景

2015 年 3 月 13 日、ハリケーンでは最大の強度であるカテゴリー5<sup>1</sup>に当たる大型サイクロン「パム」が、南太平洋のヴァヌアツ共和国を直撃し、甚大な被害をもたらしました。

<sup>1</sup> 熱帯性低気圧を分類する等級であるサファ・シンプソン・ハリケーン・スケールでは、ハリケーンの強度をカテゴリー1 から最も強い 5 まで分類している。2013 年に、フィリピンにおいて死者 6,200 人以上、被災者 1,600 万人以上の被害をもたらした台風ハイエンが、カテゴリー5 に当たる

ヴァヌアツは、大小 83 の島々からなり、新潟県ほどの総面積を持つ国です。サイクロンは、首都ポートビラのあるエファテ島も直撃し、半数以上の住居が損壊または全壊しました。また、国内人口 25 万人の内、約 6 割に当たる 16 万人以上が被災しました（国連人道問題調整事務所 UNOCHA、2015 年 3 月 20 日）。

#### 5. AAR Japan のサイクロン・パムに対する支援（3 月後半～4 月上旬）

3 月 18 日、AAR Japan の東京本部職員、柿澤福郎を派遣し、被害状況と必要とされる支援について調査しました<sup>2</sup>。ポートビラの国家災害管理局（NDOM : National Disaster Management Office）で開催される援助調整会議で、国連や他の援助機関とも調整の上、当会は、3 月 26 日からエファテ島東海岸の 3 村（タカラ村、エパオ村、エトン村）において、176 世帯に対して、衣類を配付しました。また、3 月 29 日には、2 人目の出張者である角谷亮をヴァヌアツに派遣し、4 月 2 日、首都の国際空港近くの川沿いの集落で 130 世帯に対して、食料パックとファミリーキット（キッチンセット、石鹸など衛生用品やタオルなど）を配付しました。

#### 6. AAR Japan のサイクロン・パムに対する支援（4 月後半以降）

##### 日本オセアニア学会ヴァヌアツ災害義捐金事業

4 月 6 日、東京本部の出張者 2 名は日本に帰国し、それ以降は、ヴァヌアツの医療専門団体である VFHA（Vanuatu Family Health Association）と連携してヴァヌアツ事業を実施しております。VFHA は、1991 年に設立された首都ポートビラに事務所兼クリニックを構える非政府組織（NGO）で、看護師 3 人、助産師 2 名、非医療従事者 7 人から組織されています。VFHA の主活動は、家族計画ですが、その他にも予防接種や一般診療も行っています。

サイクロン・パムで被害にあった離島への医療支援実施を実現するために、AAR Japan は、VFHA の活動を支援することにしました。離島への VFHA 出張チームは、総勢 6 人から 7 人（チームリーダー 1 名、看護師 2 から 3 人、会計 1 人、カメラマン 1 人、ロジ 1 人）から成り、医療支援（避妊薬治療、風邪、虫下し、下痢、眼病、皮膚病、包帯、血圧測定など）、そして一部の島には食料や水の配付、また恒常的に水不足の問題があったタンナ島の村には水タンクを設置しました。

4 月 30 日から 8 月 20 日までに、8 回離島に出張し、6 島の住民 11,796 人に対し家族計画の啓発活動を実施するとともに、10,311 人の住民に医療支援を提供してきました。その内、日本オセアニア学会ヴァヌアツ災害義捐金を活用させて頂き、7 月 7 日～12 日のパアマ島、そして 7 月 15 日～25 日のタンナ島での活動が実現しました。成果として、啓発活動には、2,921 人（パアマ島 619 人、タンナ島 2,302 人）が参加し、2,757 人（パアマ島 494

---

<sup>2</sup> 緊急人道支援をサポートするジャパン・プラットフォーム（JPF）が結成した、JPF 事務局とその加盟 NGO による合同チームで調査を実施

人、タンナ島 2,263 島）が医療支援を受けることができました。避妊治療以外の医療支援では、虫下し、風邪、皮膚病の治療件数が多くありました。

#### 7. 今後の事業

AAR Japan と VFHA との合意に基づき、AAR Japan から提供した資金を利用し、今後、VFHA が数回離島に出張する予定です。直近では、8 月後半に、エファテ島の南に位置するエロマンガ島での医療活動を計画しております。

#### 8. 会計報告

費目	値段
水タンク	157,500 円
交通費（タンナ島）	52,800 円
交通費（タンナ島）	52,800 円
交通費（パアマ島）	78,700 円
人件費（VFHA スタッフ）	120,000 円
通信費、文具	6,000 円
合計	415,000 円

\*医療活動に係る薬、消耗品は保健省から VFHA に配付されているものを利用

#### 9. 報告担当者 角谷 亮（かくたに りょう）

（連絡先）

所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 7 階

電話番号：03-5423-4511

メールアドレス：[staff@aarjapan.gr.jp](mailto:staff@aarjapan.gr.jp)

URL：<http://www.aarjapan.gr.jp>

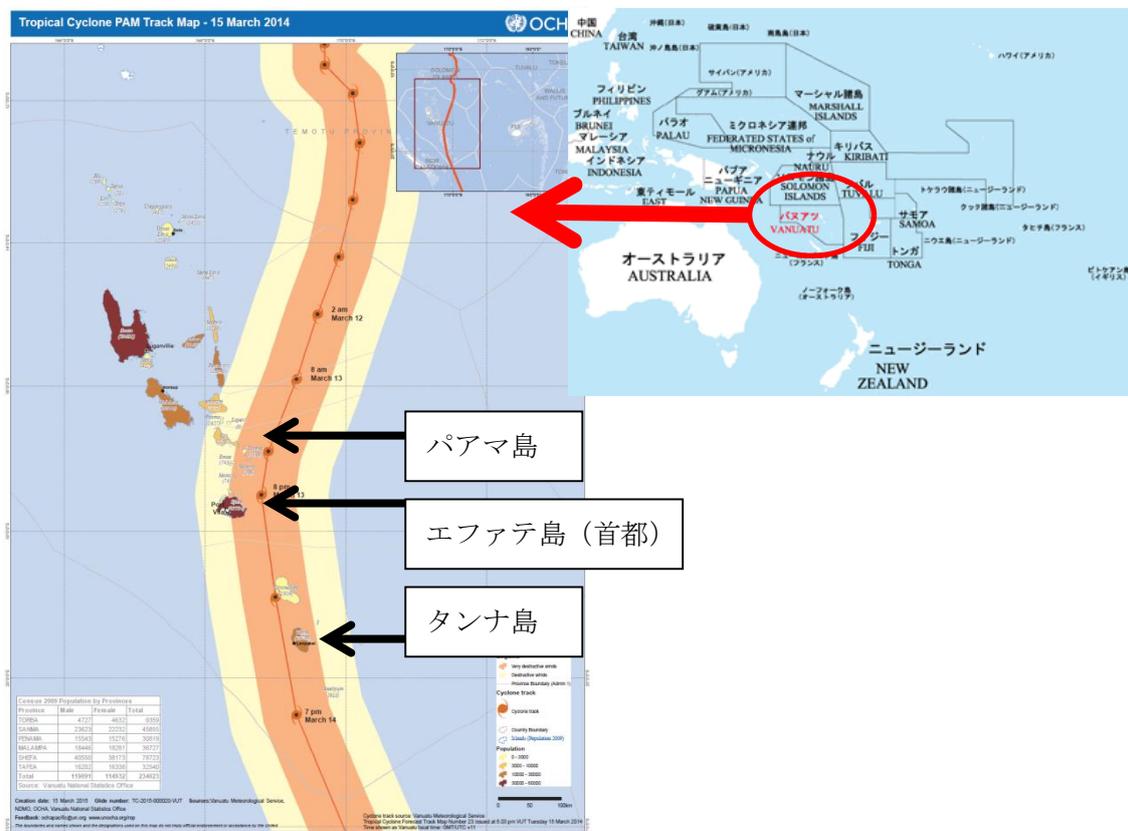
#### 【添付資料】

添付資料 1：事業実施地の地図

添付資料 2：事業に関する写真

添付資料 3：出張詳細

添付資料 1 : 事業実施地の地図



オレンジ色の帯が、サイクロン・パムの軌道 (UNOCHA、Tropical Cyclone PAM Track Map, 15 March 2015)

添付資料 2 : 事業に関する写真



避妊についての啓発活動を聴く住民達 (2015年7月、パアマ島)



パアマ島に到着した VFHA スタッフ (2015年7月、パアマ島)



患者の診療にあたる VFHA スタッフ  
(2015年7月、タンナ島)



貴学会の義捐金を利用し提供した 6,000  
リットルの水タンク  
(2015年7月、タンナ島)

添付資料3：出張詳細

	活動日程	活動地	啓発活動	医療活動
1	4月30日～	タンナ島	988人	2,955人
2	5月12日～23日	エピ島	3,475人	1,071人
3	6月3日～10日	エピ島	3,530人	2,955人
4	6月18日～20日	ングナ島、ペレ島	209人	229人
5	7月1日～3日	モソ島	236人	153人
6	7月7日～12日	パアマ島	619人	494人
7	7月15日～25日	タンナ島	2,302人	2,263人
8	8月3日～6日	タンナ島	437人	191人